

所属・氏名（薬学部薬学科 氏名：世良行寛）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Mitotic abnormalities and spindle assembly checkpoint inactivation in a cell model of Shwachman-Diamond syndrome with mutations in the Shwachman-Bodian-Diamond syndrome gene, 258+2T > C. 《筆頭論文》	共著	2024 年 10 月	Drug Discov Ther	シュワツハマン・ダイヤモンド症候群 (SDS) の疾患モデル細胞における染色体分離異常を発見し、SBDS が紡錘体チェックポイントの不活性化に関与していることを明らかにした。 (総ページ数:7 頁) (Sera Y, Imanaka T, Iguchi Y, Yamaguchi M) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学術論文) SBDS gene mutation increases ROS production and causes DNA damage as well as oxidation of mitochondrial membranes in the murine myeloid cell line 32Dcl3. 《筆頭論文》	共著	2024 年 7 月	Biol Pharm Bull	SBDS 遺伝子変異 (258+2T>C) を有する SDS 疾患モデル細胞を作製し、SBDS 遺伝子の変異による ROS 産生亢進、ゲノム DNA 傷害やミトコンドリアダメージの蓄積について報告した。 (総ページ数:12 頁) (Sera Y, Yamamoto S, Mutou A, Koba S, Kurokawa Y, Imanaka T, Yamaguchi M) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (学術論文) Knockdown of the Shwachman-Diamond syndrome gene, SBDS, induces galectin-1 expression and impairs cell growth.	共著	2024 年 1 月	Int J Hematol.	SDS の原因遺伝子である SBDS のノックダウンによりガレクチン1の発現が誘導され、細胞の増殖を阻害しアポトーシスを誘導することを示した。 (総ページ数:9 頁) (Masafumi Yamaguchi, Yukihiro Sera, Hanae Toga-Yamaguchi, Hirokazu Kanegane, Yusuke Iguchi, Kingo Fujimura) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (学術論文) M phase-specific interaction between SBDS and RNF2 at the mitotic spindles regulates mitotic progression. 《筆頭論文》	共著	2023 年 10 月	Biochem. Biophys. Res. Commun.	SBDS と RNF2 が紡錘糸上で相互作用し、SBDS のユビキチン化と分解を介して分裂期の進行を制御していることを明らかにした。 (総ページ数:6 頁) (Sera Y, Imanaka T, Yamaguchi M) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (学術論文) チーム基盤型学習 (TBL) を用いた自律的な学修力、教育力、コミュニケーション力の可視化	共著	2022 年 3 月	広島国際大学基盤教育センター紀要	生物学演習を TBL にて実施し、成績の各項目、ならびにアンケートを解析したところ、TBL による学修は、学力のみならずコンピテンシーの醸成、ならびに評価が可能なが示された。(総ページ数:10 頁) (山口 雅史、井口 裕介、宇根 瑞穂、大西 勇氣、神垣 真由美、清家 総史、世良 行寛、瀧野 純一、平尾 雅代、山下 ユキコ) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
6 (学術論文) SBDS interacts with RNF2 and is degraded through RNF2-dependent ubiquitination. 《筆頭論文》	共著	2022 年 2 月	Biochem. Biophys. Res. Commun.	RNF2 が SBDS をユビキチン化しプロテアソームを介した分解制御を促進することを明らかにした。(総ページ数:5 頁) (Sera Y, Sadoya M, Ichinose T, Matsuya S, Imanaka T, Yamaguchi M) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能